

# アドバンスド

## Microsoftテクノロジーを めぐる冒険

# Windows プログラミング

第 3 回

## Visual C++の新機能

こだか かおる  
KODAKA, Kaoru

Level

1 2 3 4 5

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- ASP.NET
- Other:  
Visual Studio 2005 ベータ2  
VS 2005 beta cleanup tool

Samples

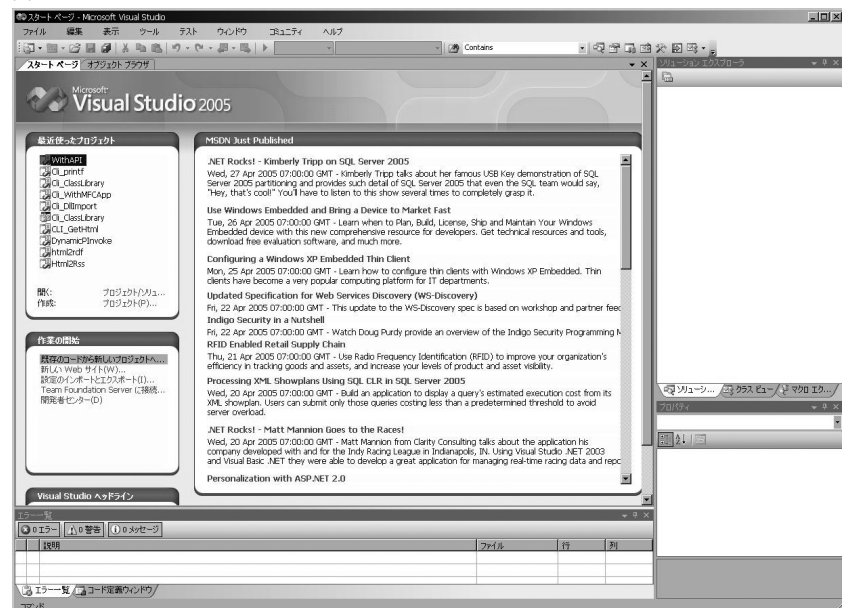
### Visual Studio 2005 ベータ2がやってきた!

日本全国の.NET開発者が待ち望んだVisual Studio 2005ベータ2がいよいよ公開されました(図1)。3Gを超える巨大なファイルですが、日本のブロードバンド環境を最大限に利用して、MSDNサイトからダウンロードされた

ことと思います。MSDNに加入していない人たちは、各Expressエディションをダウンロードしたことでしょう。私も貧弱な回線を利用して、3日間かけながらダウンロードしました。少し前にすでに英語版が公開されていましたが、やはり日本語版はうれしいものです。

さて、ダウンロードが終わったらさっそくインストール、といきたいとこ

図1: Visual Studio 2005 ベータ2



ろですが、あせりは禁物です。Visual Studio 2005ベータ1がインストールされている環境では、先にそれらをアンインストールしておかなくてはなりません。

Visual Studio 2005、.NET Framework 2.0、SQL Server 2005など、関連するアプリケーションをアンインストールし、念のため再起動してからインストールを始めました。しかし、やはりベータ版のためか、なかなかスムーズにはいきません。私の場合、とりあえずVisual Studio 2005ベータ2自体のインストールはうまくいったものの、SQL Server 2005 ExpressエディションCTPのインストールに失敗しました。インストールログにもエラーが記録されています。

Visual Studio 2005、SQL Server 2005に関しては、Microsoftもかなり力を入れているようで、早い段階からベータ、またはベータに至らないビルド(Customer Technology Preview:CTP)が公開されています。それらのバージョンで、何度か入れ直し、上書きインストールなどを試してきましたが、どうもアンインストールがらみで問題が発生することが多いようです。

今までで一番ハマったのはSQL Server 2005ベータ2で、アンインストールをしようにも.NET Framework 2.0ベータがうまくアンインストールできず、どうしようもない状況に陥ってしまったことでした。そのときは、結局あきらめてオペレーティングシステムの再インストールからやり直しましたが、時間もかかりますし、できれば避けたいものです。

## 環境をクリーンアップするツール

本来なら、このあたりの問題は、Visual Studioのインストーラが解決すべきでしょう。しかし、やはりベータ版ですし、もともと想定されていない動きです。Visual Studio 2002/2003からVisual Studio 2005へ、といったアップグレードには対応していても、ベータ版からのアップデートまで面倒をみてほしい、というのはちょっと要求が高すぎると思います。

そこで、というわけでもないのですが、オフィシャルではないもののMicrosoftからフリーのツールが公開されています。

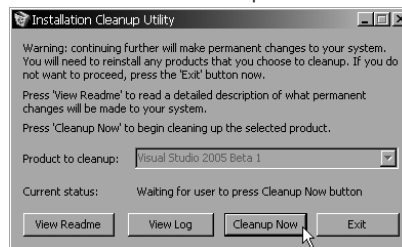
### VS 2005 beta cleanup tool

<http://blogs.msdn.com/astebner/archive/2005/04/25/411974.aspx>

このツールは、インストール環境を調査し、問題があればそれをフィックスしてくれるというものです。具体的には、アンインストールできずに残ったインストール情報、ファイルなどをクリーンアップしてくれます(図2)。

もし、過去のVisual Studio/.NET Frameworkのベータ版が問題となってインストールに失敗するときは、このツールを使ってみるとよいでしょう。私も試してみましたが、どうやらSQL Server Express Editionベータ1の残骸が残っていたようです。このツールでアンインストールを行ない、その後、再度Visual Studio 2005ベータ2のインストールを行なったところ、今度は何の問題もなく完了しました。

図2 : VS 2005 beta cleanup tool



## Visual C++

前々回のVisual Basic、前回のC#に続き、今回はVisual C++について紹介していきます。Visual C++といえば、現存するMicrosoft製開発ツールの中で、もっとも長い歴史を持ち、多くの開発者によって使われてきました。もともとMicrosoft Cという名前でしたが、Windowsへの移行に伴いVisual C++に進化し、当然、.NET Frameworkにも対応しています。

Visual C++がカバーする範囲は非常に広く、デバイスドライバのような低レベルのアプリケーションから、いわゆるWin32アプリケーション、MFC、ATLなどもあります。新しいVisual C++では、当然、それらについての新機能も含んでいます。とはいえ、それらをすべて紹介するわけにもいきませんので、この記事の中では、.NET Frameworkに関連する部分についてのみ紹介していくことにします。

## C++/CLI

.NET Framework 1.xのときは、Managed Extension for C++、通称「MC++」